



社会開発システム工学科 E班 一ノ瀬、小川、徳田、秦野、松林、山田、片岡

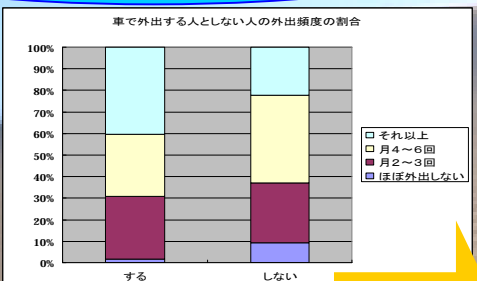
### 1. 動機と目的

何故、鳥取には活気がないのか？  
↓  
大学があるのに学生街として活気付いていない  
↓  
鳥取大学生は休日何をしているのだろうか？  
↓  
鳥取大学生にアンケートをとり、現状の把握と、どうすれば町に活気が出るのか検討した。

### 2. 研究方法

鳥取大学生にアンケートをとり  
その中から外出頻度と関連がありそうな項目を選出  
↓  
その項目と外出頻度について検定  
↓  
どういった関係があるのか確かめ、  
どうすれば外出頻度の増加  
鳥取の活性化につながるのか考察

### 3. アンケート結果と考察



有意水準5%、自由度2で検定を行うと・・・

データの個数 / ID	外出頻度				合計
車の所持	ほとんど外出しない	月2~3回	月4~6回	それ以上	
持ってる	1	3	8	10	22
持っていない	5	30	32	27	94
合計	6	33	40	37	116
T11	T12	T13	T14		
0.577063741	1.2619455	8.041105	13.7152		
T21	T22	T23	T24		
0.003912937	0.3970853	0.0052825	0.2967322		

※カイの2乗検定とは、独立性の検定であり、ある項目とある項目の間に関連があるかどうかを調べる手法である。

2つの項目は、独立である → 帰無仮説  
2つの項目には、関連性がある → 対立仮説

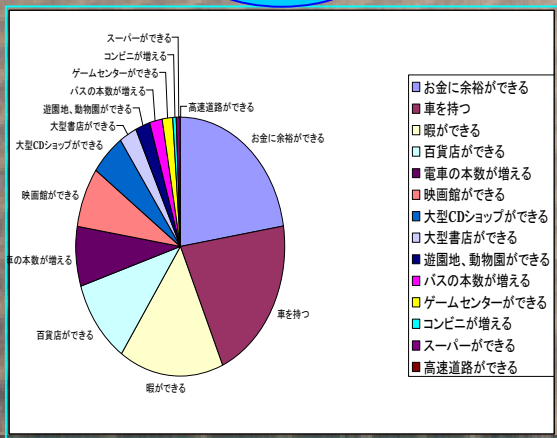
アンケートの結果より、車で外出する人としない人で外出頻度に違いが出るのが判った。

カイの2乗検定を行う

検定統計=24.298327  
棄却限界=5.9914645

よって検定統計量 > 棄却限界となる時、帰無仮説は棄却されるので、24.298327 > 5.9914645 から車の所有と外出頻度は、関連がないとは言えない

### 4. 結論



### 5. 反省

上のカイ2乗検定に加え、アンケート結果による「どうすれば外出機会が増えるか」という項目で、百貨店、映画館、大型CDショップ、大型書店ができれば約25%の人が外出頻度があがるという結果に！！鳥大生が車を持つことで外出頻度があがり、さらに鳥取市に百貨店、映画館、大型CDショップ、大型書店ができれば、鳥大生の外出先が鳥取市街になり活気が生まれる！！

学生の休日の過ごし方は知ることができたが、鳥取市街の活性化への分析ができなかった。都市部に住む学生の休日の過ごし方と比較し、鳥大生がどのようにして鳥取市の活性化に貢献できるか検討してみたかった。